

令和5年度入学試験問題

外国語（英語） 601

（前期日程）

出題意図

概要

高等学校学習指導要領に示されたコミュニケーションのための英語について、言語要素とコンテキストの理解および表現の能力を試すための問題である。高校の英語の授業で行うリーディング活動を念頭に置いた設問により、特に「外国語の背景にある文化に対する理解を深め」、聞き手、読み手、話し手、書き手についての相互の関係を意識しながらリーディングを行い、読み取った内容を他者にフィードバックするという英語コミュニケーションの力を試すことを意図している。また、コミュニケーションの基本として、自らの考えを、英語で論理的かつ具体的に述べる力を試すライティングの課題を出題した。

第1問では、アメリカの先住民の伝承について、筆者がアメリカの大学で講演した経験について語る文章を題材とした。アメリカ人学生の態度とトルコ人留学生の受け止め方を比較しながら、書き手の意図について、英問英答の形で受験者の理解とコミュニケーション力を問う。第2問では、日本の子供たちの行動を描くテレビ番組「はじめてのおつかい」がアメリカでネット放映されているのを観たアメリカ人著者の反応をめぐって、文化的な比較点や著者の母親としての気持ちの理解、また、それを他者に英語で伝えられるかを試す課題を課している。第3問においては、これから学生生活を迎える受験生に身近な話題として、大学生にとって寮での生活の利点と不便さについて、自分の意見をしっかりと論拠を挙げて述べるができるかどうか、英語コミュニケーションにおける論理的発言力を試すことを意図した。

第1問

食べものについての感謝の意識について、穀物の神に感謝することを忘れた北米の先住民の伝承をめぐってアメリカの大学で学生に講演をした経験を語る文章を題材とした。裕福な家庭出身の学生の多いアメリカの私立大学において、先住民の考え方が学生に伝わったか、描写されたアメリカ人の学生の態度を通じて考える。また、トルコからの留学生の語る自国の文化の3つの異なった例について、相互の類似点と相違点を正しく理解し、読み取った内容を英語で伝えられるかを試す。ここでの話題は、近年においてもSDGsに関係して破棄食物（Food Loss）を減らす取り組みとして注目されているものである。

第2問

日本の子供たちの行動を描くテレビ番組「はじめてのおつかい」がアメリカでネット放映されて、それを観たアメリカ人記者が、アメリカの子育てと日本のそれとを比較する文章を題材としている。子育てにおける日米の違いを著者はどう見ているか、日本の子供に対する態度のどのような点が著者に魅力的に感じられたのかを理解し、それを英語で伝えることを求める設問によりコミュニケーションのための英語読解力を試すのがねらいである。

第3問

受験生にとって身近な話題を選び、自分の意見を論理的かつ説得力を持って述べる、英語の発信力を問う問題である。コミュニケーションは、自分の意見を積極的かつ論理的に発言しないと進まない。大学生に寮生活を義務化することについて、自分の意見を合理的な理由や例を挙げて一貫した形で述べるという課題でコミュニケーション英語における発信、表現の能力を試す。語彙、表現の適切な使用、理由の具体性、論理の一貫性、文のつながりと全体としての説得力について評価する。